

1. 開催日：2023年12月5日（火）
2. 開催場所：一橋大学 一橋講堂  
(〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内)
3. 開催趣旨：我が国のマテリアル科学・産業の競争力低下が指摘される中、マテリアル革新力強化戦略が提言され、この中で、データ駆動型材料開発の重要性が高まっている。文部科学省では、マテリアルデータを、つくる、ためる、つかう、3つの事業を展開し相互に連携することでマテリアル DX プラットフォームを構成することを目指している。  
マテリアルデータをつくる事業として、従来のナノテクノロジープラットフォームで培ってきた全国規模の設備共用ネットワークを活用し、全国 25 の大学、研究機関が参加して、設備共用に伴い創出されるマテリアルデータの収集・構造化を進めている（マテリアル先端リサーチインフラ：ARIM）。収集されたマテリアルデータは、物質・材料研究機構に設置されたデータ中核拠点において管理、運用され、材料研究所の特長を活かしたデータ戦略を進めている（材料データプラットフォーム）。さらに、蓄積されたマテリアルデータを有効利用し、データ創出、データ統合・管理、データ利活用を一貫通貫したマテリアル研究プロジェクト（データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト：DxMT）を進めている。  
本シンポジウムでは、これら 3 つの事業の活動状況を踏まえ、Society 5.0 の実現、カーボンニュートラルの具現化、ウェルビーイング社会の実現などに、マテリアル革新力強化が果たす役割を俯瞰する。
4. セッション構成（予定）：  
Session1 データ駆動型研究を取り巻く環境  
基調講演 1： 細野 秀雄（東京工業大学 名誉教授）  
基調講演 2： Thomas Schrefl（Professor, University for Continuing Education Krems, Austria）  
Session2 DxMT、ARIM の融合 3 件  
Session3 ARIM-DxMT 融合に向けた DPF インフラ発展への期待（パネルディスカッション）  
Session4 ポスターセッション
5. URL：[https://nanonet.mext.go.jp/page/matiss\\_2023.html](https://nanonet.mext.go.jp/page/matiss_2023.html)（準備中）
6. その他
  - ・オンライン併用開催
  - ・言語：国内講演者は日本語、海外からの講演者は英語